

平成 28 年 8 月 12 日  
気象庁地震火山部

## お知らせ

平成 28 年 8 月 1 日に発表した緊急地震速報（予報）の原因等について

平成 28 年 8 月 1 日 7 時 36 分頃、17 時 09 分頃及び 17 時 12 分頃に発表した緊急地震速報（予報）の際に、観測点の電源部故障により、地震計（加速度センサー）の出力データに急激な変化を生じたことが判明しました。この電源部の故障については、雷災等が影響している可能性も考えられますが、原因の特定に繋がる記録や痕跡がなく、その特定は技術的に困難な状況です。

気象庁では、今後、同じ原因で緊急地震速報（予報）が発表されることを防ぐための対策について検討中ですが、その対策を講じるまでの当面の措置として、電源部故障の対応が必要な基盤強震観測網（KiK-net）（ ）観測点全 15 地点（別添参照）の利用を、8 月 9 日 18 時 30 分以降、停止する措置を施しました。

なお、この措置により、当該観測点近傍で浅い地震が発生した場合に、地震検知が最も長いケースで 4 秒程度遅れる可能性が考えられます。

基盤強震観測網（KiK-net）とは

KiK-net は国立研究開発法人防災科学技術研究所が、高感度地震観測網（Hi-net）と共に整備した強震観測網です。観測施設は、全国約 700 箇所に配置され、各観測施設には観測用の井戸（観測井）が掘削されており、地表と地中（井戸底）の双方に強震計が設置され、鉛直アレーを構成しているのが特徴です。

参照 [http://www.kyoshin.bosai.go.jp/kyoshin/docs/kyoshin\\_index.html](http://www.kyoshin.bosai.go.jp/kyoshin/docs/kyoshin_index.html)

# 別添

国立研究開発法人 防災科学技術研究所が展開する  
「KiK-net」のうち緊急地震速報に利用している観測点配置図



真岡、霞ヶ浦、江戸崎、銚子中、蓮沼、千葉、  
勝浦東、鴨川、富津、厚木、八王子、所沢、  
岩槻、伊勢崎、御代田 の計15点